

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 清明会	特別養護老人ホームむらかみの郷	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り機器 ② 見守り機器	リコーエスマモリベッドセンサーシステム ① タイプC1 ② タイプC1増設キット	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月13日	① 1台 ② 1台	

【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】

ベッドからの転落・転倒リスクが高い利用者居室に導入。別途整備したナースコールとの連携オプションにより、利用者の状況の変化が即時コールされる為、転倒事故の未然防止や職員の効率の良い業務に寄与している。

【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】

導入前は転倒リスクの高い利用者に対し定時の訪室を実施していたが、その頻度を減らす事の出来るような業務改善が見込まれる。導入後の状況についてはデータ化する事が可能なので、今後はそれに基づいて事故対策委員会にて分析を行ない、適切な介護量の設定をしていく事としている。

【介護ロボットの不都合な点】

今後の機器バージョンアップにより、施設で導入済の記録システムへの自動転記等が予定されているので活用したいと考えている。

不都合な点については、センサーシステムを設置する居室によって機器が採用しているWi-Fiの電波が弱く、通信が切断されてしまう事があるようだ。Wi-Fi機器の増設等で対応をしたい。（現在設置している居室については問題無し）